

＜第5回 竜神地域会議 会議録＞

日時 令和5年9月26日（火） 19:00～20:30
場所 竜神交流館 多目的ホール
出席者 委員 18名
市役所 太田市長、辻部長、後藤部長、花田課長、丹羽副課長
事務局 成瀬支所長、吉澤副支所長、天野担当長、山口書記
オブザーバー 岩田館長

1 会長あいさつ〈省略〉

2 市長あいさつ〈省略〉

3 諮問

- ・諮問書受渡し
- ・諮問内容説明

「第9次豊田市総合計画」の方向性について

企画政策部 企画課 丹羽副課長、都市計画課 花田課長より説明

- ・質疑応答及び意見交換

委員より質問

「えきちか居住誘導エリア」と書いてあるが、竹村駅の場合、居住が増えても今のままでは土橋駅や若林駅など近くの利便性が良い駅へ人が流れてしまう。竹村駅を住民が利用しやすい駅にするというビジョンも2030年に向けて考えてもらえないか。

市長より回答

将来に向けて竹村駅の改修は必要だと思っている。ただ、竹村駅の立地の問題等を考えると難しい部分もあり、地元を設置している検討会と一緒に考えていきたい。

委員より質問

英語を使った表記が多いので、高齢者や子どもにもう少しわかりやすいような記述にできないか。今後、高齢化が豊田市の大きな課題になってくるので、助け合いをする方法や医療機関の問題等、具体的に書いてもらえるとわかりやすい。子どもという視点はとても良いと思う。

市長より回答

英語表記がわかりにくいという意見は他の地域会議でも出ている意見なので、今後改善していく。高齢者の話はコロナを経てさらに課題として大きくなっており、健康寿命延伸、介護予防の取組が重要だと考えている。子どもに関しては、現在の子ども達が地域に愛着と誇りを持ってくれなければ市外へ出て行ってしまうので、子ども達が地域を学び、その地域に愛着と誇りを持ってもらうことも重要だと考えている。

委員より質問

民生委員をやっているが、高齢化が進む中で民生委員が現在の人数では足りなくなると思うので、もっと増えると良いと思う。また、交通機関のことが書いてあるが、高齢者は公共交通機関がないとなかなか自分で出かけることが難しい。市から補助されるタクシー券があるが、金額的には実質全く足りていない。交通の不便さを解消できると良いと思う。

市長より回答

バスの路線を増やすことやタクシー券の金額を増やすことは解決にならないと思うので、見方を変えて、カーシェアリングという方法を考えている。ただ、事故が起きた時のことを考えるなど、今後検討していく課題は多い。

委員より質問

「ミライ構想」がカタカナで書いてあるが、カタカナである意味はあるのか。

市長より回答

豊田市が環境モデル都市に認定された際のキャッチフレーズ「ミライのフツーを目指そう」から用いて、カタカナで表記している。カタカナの「ミライ」は自分でつかみ取る未来という意味があるが、その意味を表記していないので、この点は再考する。

4 報告事項

- (1) 旅費請求書の取扱い変更（押印廃止）について
旅費請求書の取扱い変更（押印廃止）について事務局より説明
- (2) 第4回竜神地域会議 会議録について
第4回竜神地域会議 会議録について事務局より説明
- (3) 竜神ふれあいまつり 出展内容について
竜神ふれあいまつり 出展内容と回覧チラシについて事務局より説明
- (4) 令和6年度からの事業計画について
令和6年度からの事業計画に対する委員からの意見と対応案について事務局より説明